



第6話

今年の土木委員会は熱かった

29年度の土木委員会では、倉敷駅の連続立体交差事業のことがもっぱら熱い議論となりました。約20年前にチボリ公園とあわせて提案された計画で、その後「費用対効果」が少ない値に変わり凍結していたのですが、昨夏に倉敷市が再度提案してこられたのを機に、委員会でも「やるべきだ」の声が大きくなりました。これまでの議論の中で倉敷市との評価方法の違いやこれまでの経緯などが徐々に明らかになりましたが、今後は縮小案や代替案を含めた再評価が行われます。総事業費は609億円（うち約4分の1が県負担）。20年前

と比べると県の土木予算は3分の1に減っており、かなりの県財政の圧迫を覚悟しなければ実現できない事業と言えるため、地域性やテーマを超えた幅広い議論が進められることが望まれます。



土木委員会（全部で9名）の皆さんと県外調査@北海道開発局

インターン物語 !!

作:ラブリ 絵:マリー



おおかあ・プロフィール
1974年1月10日生まれ。旭操小学校、操南中学校、岡山朝日高校、岡山大学教育学部卒業。99年より福島県で農業研修。4年間の大工修業の後、自宅を建て、大工として働く。2011年3月福島原発事故により一家で岡山に避難。5月「子ども未来・愛ネットワーク」を立ち上げ、避難移住者のサポートや福島の子どもの養育受け入れなどを行う。北区建部町に夫、3人の子供と暮らす。

大塚愛 いっぱ通信

岡山県議会議員

大塚愛 県政レポート[第6号]

発行:2018年4月(2018年2月議会報告)

—

最新情報を発信しています

Facebook:

・みどり岡山

www.facebook.com/greenokayama

・大塚愛

www.facebook.com/ohtsuka.ai.3

●みどり岡山ホームページ:

http://midori-okayama.org

【事務所】
〒700-0971
岡山市北区野田5-8-11
Tel:086-244-7721
Fax:086-244-7724
e-mail:info@midori-okayama.org
http://midori-okayama.org/
【自宅】
〒709-3122
岡山市北区建部町吉田321
携帯:070-5056-3808
e-mail:ai@midori-okayama.org



お お っ か あ い
大塚愛

県政レポート(2018年4月発行) [第6号]



いっぱ通信

P.02-03 おかやま県政ニュース—自然やいのちを守るために

P.01 「3・11への祈り」～原発事故から学べる社会へ

P.03 おもな活動記録から「南海トラフ地震後方支援のセミナー」

P.04 愛ちゃんがゆく! — 県議体験記 — / 日々のうごき (2018年1月～4月)

日々のうごき

2018年1月～4月

- 1.16 三徳園の話し合い
1.18 おかやまテクノロジー展



- 1.19 岡山県居住支援協議会
1.20 ホームレス支援きずな総会
1.21 吉備中央町出初式、御津新庄原区総会、駅前女性の会
1.25 常任委員会(土木)、予算総括協議会質問読みあわせ
1.26 特別委員会(地域振興・防災・環境対策)
1.27 講演@兵庫県中央市
1.28 新社会党岡山県本部旗開き、福島原発おかやま訴訟原告団会議

- 1.31～岡山県森林・林業活性化促進議連視察@岐阜県
2.1 常任委員会
2.3 WATOTOコンサート、たんばほネットワーク定例会
2.4 御津(河内、下田、母谷)総会、原発ゼロ基本法案意見交換会
2.5 県政報告の動画収録
2.7 予算総括協議会
2.8 会派知事折衝、県政市政おはなし会@表町



- 2.9 フードバンクを考える会、

- 小学校参観日
2.11 建部タイムカプセル式典
2.12 美男美女の会
2.13 高次機能障害者の運転のお話
2.15 常任委員会、代表質問読みあわせ
2.16 フードバンクを考える会、特別委員会
2.17 県政市政おはなし会@岡西公民館、放射能汚染防止法制定の勉強会
2.18 御津中学校区町内会協議会、チャリティコンサート出演、AMDA南海トラフ地震プラットフォーム会議
2.19 「3・11への祈り」準備会、若年女性支援ミーティング
2.20 福島原発おかやま訴訟(第12回)、省エネセミナー
2.21 常任委員会、春休み保養準備会
2.22 フードバンクを考える会、みどり岡山会議
2.23 2月議会開会
2.27 代表質問
2.28 ヘルプマークのお話、講演@真庭市久世中学校



- 3.2 一般質問(3.6～9)
3.3 南海トラフ広域支援セミナー@関西学院大学
3.5 加茂川ホリデイフォレスト報告会
3.10 「3・11への祈り」開催
3.11 @建部町ドレミファミリア
3.12 フードバンクを考える会、空き家セミナー@建部町公民館
3.13 建部中学校卒業式
3.14 建部里山の餅つき

- 3.15 長男の卒業式@竹枝小、特別委員会、新斎場裁判の報告会



- 3.16 常任委員会
3.17 ゆいネット@岡山中央病院
3.18 建部里山まつり出演、三徳園・小鳥の森シンポジウム@上道公民館
3.19 春の乳牛審査会@久世家畜市場、旭川タイムラインシンポジウム
3.20 2月議会閉会、御津産産(砂防指定地)のお話@備前県民局
3.21 自然エネルギー勉強会
3.22 玉野市役所訪問(保養支援)、おかやま災害ボランティア支援活動ネットワーク会議
3.24～春休み岡山保養プラン
26.30 (1日まで実施)



- 4.4 ひょうたん池の会議、
4.6 住まいと暮らし相談センターのお話、春保養反省会
4.7 菅直人さんのお話会



- 4.8 吉備高原のびのび小学校希望中学校入学式
4.9 県政報告の動画収録
4.10 息子の入学式@岡山後楽館中学校
4.11 吉備高原学園入学式

みなさん、こんにちは。春は進学や職場の移動など新しい変化を迎える季節ですが、いかがお過ごしでしょうか？

また、東日本大震災で被災した方にとって、春は震災後の8年目を迎える節目でもあります。

3月には「3・11への祈り」を開催しました。追悼会での

トークでは、20歳の佐藤美菜さんが涙を流しつつ、静かに思いを語ってくれました。

福島県川俣町の農場で生まれ育った美菜さんは、幼い頃から田畑や山野で遊び、両親の農作業を手伝い、その農場を継ぎたいとさえ思っていました。しかし、原発事故が起こり、その暮らしは放射能汚染により奪われました。



原発事故をくり返さぬ未来を願って@「3・11への祈り」

「命を何だと思っているのか。鳥や魚、草花や森…、叫んで訴えることもなく死んでいく命がある。それらの命に私

は何と声をかければいいのか分かりません。…いま日本で原発を動かす理由はなんですか。嘘なく教えてください。…私は自然の中で生きたい。私は自然にある命をいただいて生きているんだということ。この土台は3・11とやまなみ農場での暮らしが教えてくれた道しるべです。」

私は20代の頃、この農場で農業研修のお世話になりました。当時の美菜さんはまだ1歳で、いつもお母さんと一緒に畑で過ごし、食べるもの



子どもの頃の美菜さん@福島県川俣町やまなみ農場

は全て手作りでした。彼女にとってその暮らしがどれだけ豊かなものとして体に沁み込んでいたか…。地に足をつけた若い女性の言葉に力強さと、原発事故の罪の深さを感じました。

この日は「岡山のエネルギーを語ろう」という講演会も行い、市民発電所や真庭のバイオマス発電や新技術の情報を学び合いました。岡山県でもエネルギーの地産地消が進められるよう取り組んでいきたいです。

おかやま県政ニュース

— 自然やいのちを守るために —

大塚愛が取り組む岡山県政のいまのうごきを報告します



NEWS 01

防災ガイド 「ももたろうの防災」できました！

災害が少ないと言われる岡山にも、南海トラフ地震が起こる可能性が高まっています。自分たちが住む地域で、どんな災害が起こるのか、何を準備すればよいのか…？ そんな具体的な情報をわかりやすいイラストで伝える防災ガイドができました。これは地域や学校、企業などで誰でも活用できるよう、編集可能な著作権フリーのデータと

して、県のホームページからダウンロードできるようになっています。本編に加えて、「子ども編」と「要配慮者編」もありますので、県のホームページから「ももたろうの防災」を検索してご覧ください。

この作成にあたっては、東日本大震災から岡山に避難した方達が県の危機管理課と意見交換をした内容も反映されています。

岡山県でも過去の大地震では2mを超す津波が来たり、液状化や地盤沈下による家屋の倒壊が起きています。「災害に備えて命を守ってほしい!」という被災した方達の思いも受けて、岡山の防災力をボトムアップしていきたいです。



岡山バージョンの防災、あなたは何から取り組みますか？図書館で閲覧可能になります

NEWS 02

DIYリノベーション事業 @岐阜県各務原市の視察

床貼りをするワークショップを行ったりしています。ワークショップは若い世代に反響が大きく、移住者受け入れの新しい魅力にもなっているということでした。また、建築デザインを学ぶ大学生にリノベーションの提案をしてもらうことで、学生ならではの明るいアイデアが家主さんを喜ばず場面もあったそうです。

した。

岡山県の空き家対策事業にもこれらを取り入れるよう、2月議会の代表質問で提案したところ、「新たなアプローチになる可能性があるので検討していきたい」と答弁がありました。地元の建部町の空き家対策でも、少しずつ具体化していけたらと思っています。

インターンのお話

この春、インターン（議員の体験学習）を受け入れました。あるNPOが主催する制度で、この春は県内で40名の学生が19名の議員のもとで活動しました。議員によって活動の仕方は様々なようですが、私は日々の活動を共にして、若モノを育てる喜びも感じました。
*参考：NPO法人ドットジェイビー



みどり岡山HPで動画配信しています
<http://midori-okayama.org>
今回のナビゲーターはインターン生です

NEWS 03

三徳園のリニューアル

「小鳥の森」で知られる三徳園（岡山市東区竹原）が国の助成を受けてリニューアルすることになり、昨夏に工事が行われました。事前告知は行われていたものの、郷土樹木園の半分にあたる約800本もの木の伐採には触れられておらず、実際には伐採の2週間前に開かれた説明会以降に多くの人が知ることになり、野鳥や樹木などの自然公園として親しんできた方たちから反対の声が上がりました。私を含む女性

議員数名が関わり、8月には県農産課との懇談会を開き、直接市民の意見を届ける機会を持ちました。元々三徳園は農業の担い手育成の施設であり、研修農場のための伐採を変更することは残念ながら叶いませんでしたが、県も対応可能な範囲で伐採区域の縮小や移植を行ったり、市民参加型の植樹を検討したりしています。

岡山市では西川や石山公園、北長瀬などでパークマネジメント（市民協働の公園運営）



小鳥たちの住処であった森が、農場に姿を変えつつが進み始めています。県の農林水産部や土木部は市民協働が苦手な部署と聞いていますが、三徳園も市民との協働を取り入れながら、自然と共生できる研修農場になっていくことを望みます。

NEWS 04

砂防指定地に 建設された産廃処分場

旭川の支流にあたる大野川の源流域（御津町虎倉地区）に、2つの産業廃棄物処理場が計画されており、地元住民をはじめとする方達は18年の長きにわたり反対運動を続けています。私も娘たちとホテル



魚とりに夢中@娘たちも大好きな大野川

このうちエヌエス日進が計画する産廃処分場は、昨年4月に岡山市から許可を受けて、その工事をほぼ終えて搬入を待つばかりの状態になっているのですが、実は砂防指定地にあたため、県条例に基づく審査基準に適合するよう、計画を変更して許可申請をしなければならないことが判明しました。これは岡山県の砂防指定地に関する条例に違反している行為となりますが、業者が申請の意思を示していることから、県は業

者の申請を待っている状態です。

そもそも砂防指定地とは、大雨などにより土砂が流出するおそれのある地形であり、アスベストを含むガレキが埋められる計画のこの処分場に、万が一豪雨災害でアスベストを含んだ土砂が下流に流出することになれば、被害は甚大です。県はあくまで砂防的観点からの審査となりますが、厳正な審査が行われるよう注視していきたいと思っています。
*「御津産廃阻止同盟」のブログ参照

おもな「活動記録」から

南海トラフ地震
後方支援のセミナー
@関西学院大学(3月3日)



関西学院大学で開かれた公開セミナーに登壇しました。南海トラフ地震では、関西や四国地方の太平洋沿岸部で甚大な被害が起こることが想定され、四国の避難者数は最大で160万人（岡山県は25万人）とも言われています。また、東海

地震が同時に起こった場合は、さらに広範囲での被災が考えられます。その中で比較的被害が少ないと考えられる岡山県は、四国地方を助ける役目実は期待されています。セミナーでは、東日本大震災時に沿岸部の後方支援拠点として活躍された岩手県遠野市の実践、岡山のAMDAの取り組みなどに合わせて、東日本大震災広域避難支援を行ってきた私からもお話をさせていただきました。南海トラフ地震に対し

ては四国の救援も視野に入れつつ、まずは岡山県の防災力を高めていかなければならず、民間のNPOやボランティアと行政間の連携、市町村間の連携、地域の自主防災の推進などが山盛りです。阪神淡路を経験した関西は防災意識が高いと感じます

